

令和 3 年度

事業者番号	0092	事業所番号	009201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	コーラゴーキン株式会社 本社工場		
事業所所在地	市区町村	深谷市	
	字・地番	中瀬550番地1	
産業分類名(中分類)	23 非鉄金属製造業		
分類番号(中分類)	23		
事業活動の概要	事業内容	事業の内容: ダイカスト製品(自動車用、通信電機器具用等)の製造 従業員数 65人(派遣等は含まず)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【令和2年度】基準排出量に対し、削減率を13%以上とする。 【令和3年度から令和6年度】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
削減目標の概要	エネルギー起源CO ₂ の削減目標	排出可能上限量(計画期間合計)	18,514	t-CO ₂		
		削減目標量(計画期間合計)	4,231	t-CO ₂	事業所区分	第2区分

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	1,553				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	3,392				
前 年 度 比 (%)	—				
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	3,392				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	4.7683				
前 年 度 比 (%)	—				
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
生産額	百万円/年	711.36			

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	下記の要因により、全体として、CO ₂ 排出量が前年度と比較して減小となった。 ・既存の油圧式トリミング機を電動サーボに更新(高効率機に更新)したため電力使用量が前年度比微減した。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受注が減少。LPG使用量が10%、電力使用量が、13%それぞれ前年度から減少した。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	4,549	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	4,549	4,549	4,549	4,549	4,549	22,745
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	13.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						18,514
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						4,231
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	3,392					3,392
	削減率 (F = (A - E) / A)	25.43%					—
	排出削減量 (G = A - E)	1,157					1,157
各年度の排出量の検証		実施済					

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分 中 区 分				
1	310100		一般管理事項 31_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する推進組織の整備	R1以前	R1以前	
2	310300		一般管理事項 31_計測及び記録の管理	排ガス温度、排ガス中残留酸素量の計測とその結果に基づく燃焼調整（平成24年7月測定機器購入）	R1以前	R1以前	90.0
3	310400		一般管理事項 31_エネルギー使用量の管理	LPG購入量と生産状況の整合	R1以前	R1以前	
4	320300		ボイラー、工業炉、蒸気系統、 32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	溶解・保持炉の炉壁及び扉の修繕	R1以前	R1以前	10.0
5	360700		ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等 36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	生産状況に合わせたコンプレッサーの稼働制限	R1以前	R1以前	20.0
6	380700		照明設備 38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	必要最小限の照明の点灯	R1以前	R1以前	15.0
7	380700		照明設備 38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率ランプに交換	R1以前	R1以前	30.0
8	380700		照明設備 38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネエアコンに交換	R1以前	R1以前	4.0
9	329900		ボイラー、工業炉、蒸気系統、 32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	省エネバーナーの溶解・保持炉に更新(1台)	R3		20.0
10	370700		電動応用設備、電気加熱設備等 37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率トリミング機に更新(油圧式→電動サーボ)	R2	R2	2.0
11	370700		電動応用設備、電気加熱設備等 37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率トリミング機に更新(油圧式→電動サーボ)	R3		2.0
12	490100		その他 49_排出量取引	自らの削減による目標達成が難しい場合、排出量取引を利用する	R7以降		
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

I. エコアクション21の認証を取得

当工場では、平成18年8月15日にエコアクション21の認証を取得し、環境活動に取り組んでいます。

II. 環境経営レポート (当社にて閲覧と下記にて)

URL : <http://www.cola-gokin.co.jp>